

地域包括支援センターを中心とする 地域ネットワーク構築に関する取組

事例集



はじめに

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続することができるよう介護、福祉、保健、医療サービスをはじめ、さまざまなサービスを必要に応じて、総合的・継続的に提供し、地域における包括的な支援を実現する公的な機関として、平成18年4月に設置されました。

京都市では、社会福祉法人、医療法人、財団法人などに運営を委託し、日常生活圏域（概ね中学校区）ごとの市内61箇所にセンターを設置しており、これまでから総合相談支援業務、介護予防ケアマネジメント業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務からなる包括的支援事業を実施してきました。

今後、「団塊の世代」が高齢期に入り、高齢化が急速に進行するとともに、一人暮らしや高齢者のみの世帯、認知症高齢者の急増など地域社会・家族関係の変化や、高齢者の価値観・ニーズの多様化が一層進むことが見込まれ、地域包括支援センターの役割やその活動がますます重要となってきます。

この度、京都市では、地域包括支援センターを中心とする地域ネットワーク構築に関する取組状況、特に先進的な取組や効果的な取組の内容を事例集として取りまとめました。各地域包括支援センターにおいて本事例集を今後の業務に役立てていただくとともに、京都市としても地域包括支援センターを中心とする地域ネットワーク構築を図るための体制の拡充にも繋げたいと考えております。

最後に、本事例集の作成に当たっては、地域包括支援センター、左京医師会、西京医師会、東山区社会福祉協議会、京都女子大学をはじめとする高齢者の地域生活を支える関係機関に多大なるご協力をいただきました。お忙しい中、貴重なご意見や資料などをいただき、皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

平成24年6月

長 寿 福 祉 課

目 次

■地域ネットワーク構築に関する取組事例

1 効果的な広報・啓発活動

- ① 地域の活動や取組内容を分かりやすく情報発信
（紫竹地域包括支援センター） 1
- ② 気になる高齢者へ継続的な関わりを持つために
（岩倉地域包括支援センター） 6
- ③ 地域に全戸配布する広報誌「るびなす」
（京北地域包括支援センター） 9
- ④ 民間事業者（店舗など）を含めた広報の実施
（音羽地域包括支援センター） 12
- ⑤ 年間12回発行する「深草・中部包括新聞」
（深草・中部地域包括支援センター） 14
- ⑥ 健康教室開催で顔の見える広報活動の実施
（島原地域包括支援センター） 17
- ⑦ 地域の関係者と連携した介護予防教室の開催
（下京・西部地域包括支援センター） 19

2 地域のインフォーマルサービスの把握等

- ⑧ 地域のケアマネジャーと連携した「配食サービス」情報の作成
（北区＜原谷・紫竹・鳳徳・柊野・紫野＞地域包括支援センター） 23
- ⑨ 医療（医師会、歯科医師会）などと連携した「高齢者の便利帳」の作成
（下京区＜西部・中部・東部・修徳・島原＞地域包括支援センター） 26
- ⑩ インフォーマルサービスを情報ファイルとしてまとめ情報発信
（丸太町地域包括支援センター） 29
- ⑪ 地域ケア会議を活用した地域情報の収集・発信
（花園地域包括支援センター） 32

3 地域ケア会議の開催状況

- ⑫ 地域ケア会議で認知症徘徊見守りネットワークの構築
（岩倉地域包括支援センター） 35
- ⑬ 地域ケア会議を活用した地域プランの作成
（花園地域包括支援センター） 40

⑭	学区ごとにテーマを決め地域ケア会議を開催 （西京・北部地域包括支援センター）	47
4	地域の関係機関との連携	
⑮	老人福祉員と連携した「私のあんしんファイル」の作成 （岩倉地域包括支援センター）	55
⑯	左京区における医療・介護・福祉等が連携した取組	59
⑰	東山区の高齢者を対象とした地域のセーフティネットを構築する取組	81
⑱	西京区の関係機関の連携による認知症ケア体制の構築への取組	90

■ アンケート調査内容と結果

1	アンケート調査内容と結果（概要）	107
2	効果的な広報・啓発活動について	108
3	地域のインフォーマルサービスの把握等について	109
4	地域ケア会議の開催状況について	110
5	ア地域の関係機関・団体との連携状況について	111
6	その他・自由意見（主なもの）	112
7	アンケート調査票	113

参考資料

「第5期京都市民長寿すこやかプラン」における地域包括支援センターの役割 ..	119
--	-----